

## 平成25年第7回東大和市教育委員懇談会 会議報告

### 1 開催日時

平成25年10月4日（金）午後2時から

### 2 開催場所

会議棟第1会議室

### 3 出席者

委員：鈴木委員長 土田委員 武石委員 岩田委員、真如教育長  
事務局：阿部学校教育部長 石井学校教育部参事 小俣社会教育部長  
岩本学校教育課長 福嶋庶務係長

### 4 協議項目

- (1) 今後の教育行政について
- (2) 東大和市学校教育振興基本計画について

### 5 会議の要旨

#### (1) 今後の教育行政について

##### ①主な説明

- ・教育に寄せる思いをお話いただき、予算化できるものについては予算化に向けた対応をする。また、昨年度の教育行政についての意見を参考までに配布した。
- ・10月29日に市長、副市長との懇談も予定している。

##### ②主な内容

- ・ハード面については、昨年主な意見の中にほとんど盛り込まれているのではないかと。
- ・子どもたちが勉強をするために最低限の環境を整えてあげたい。
- ・トイレの改修や臭い対策は、学力向上には直結しないが、環境面での改修は、やる気に関わることを考える。このことは、数年来の要望ではあるが、なかなか改善されない部分でもある。
- ・改修工事などの工事が実施される時には、綺麗に改善するように、また意識して洋式化するように対応してきている。
- ・ハード面を考えると限りなくある。ベストな状態を作るのは大変だが、最低限の環境は確保したい。
- ・学力向上には、お金をかけることも必要なのではないのか。地域の方の協力を得ること、また長続きさせるためにも多少の報酬が必要なのではないかと。
- ・クラブ活動は、顧問の先生や専門的な先生がいないことにより、廃部になったり、通学区域の学校に入部したい部活がないため仕方なく他の部活に入部しているなどの話を聞く。大学生との連携などで、部活動指導員のよ

うな援助体制が作れないか。

- ・学力アップも大事だが、自分の身を守って生きる力、その力をつけてほしい。人間として生きるすべを身につけることができる子どもを育ててほしい。安全面などを予知して危機を察知して、立ち向かえるような人になってほしい。
- ・理科の実験を準備するための支援員を配置してほしい。
- ・外国語（ALT）については、生の英語に触れることがとても大切なので時間数の増、指導の仕方など、担任も一緒に学びながら英語学習に力を入れてほしい。
- ・国際化の観点から、地域には外国人が多く居住していると考えられるのでその方々に学ぶことができると思う。
- ・学校の英語科の教員を各校一人選抜して民間にて学ばせ、他の教員に学んだことを広げ、全体の英語能力をアップさせることを考えている。
- ・来年度は、他市との共同で、中学生向けオールイングリッシュサマーキャンプを開催し、英語に触れる事業の計画を検討している。
- ・大切な予算なので、効率的に活用するよう心がけている。
- ・体力をつけることや運動をさせることは、家庭での協力も必要であり大切なことである。運動の宿題も必要なのではないかと思う。
- ・姿勢が悪い子どもが多いと感じる。これを良くするのも教育である。
- ・教員は、地域にどんなスポーツ団体があるのか、文化団体があるのかなど知っているのか疑問である。教員の意識を変えることが大切である。地域団体をもっと活用したら良いと思う。
- ・食育については、バランスのとれた食事は家庭との連携がなくては成立しない。虫歯対策では、家庭の問題（指摘しても治さない、痛くなるまで放っておくなど）も多分にある。
- ・教員については、優れた先生が各校にいらっしゃると思うので、初任者等を育てるに当たり、先輩の優れた指導者から学ぶこと（話を聞く、授業を見てもらうなど）が大切である。
- ・管理職、副校長、主幹など忙しすぎる。職務と家庭のバランスが取れるようにすべきである。校務改善が必要である。初任者を含め役付でない方の声を聴くことが大事なのではないのか。
- ・家庭支援員や子育て支援員などの活用を考える。きめ細かく目配りし、行き届いた教育をすべきである。
- ・学校運営連絡協議会の活性化をはかり、知恵を出し合い学校を良くする。
- ・地域には、退職した教員が多くいらっしゃるので、この方々の活用の仕方や能力を活かす方法を探したらどうか。
- ・団体からの支援協力の依頼の話もある。地域のボランティアなど大事に活用し、もっともっと支援の輪を広げていきたい。
- ・読書活動については、子どもの読書活動推進計画を策定した。これまで様々な機関や施設において、子どもの読書活動への取組みを多様な形で行ってきたが、これからは体系化させていき、市全体で子どもに対しての読書環境の整備を図っていく。
- ・小学校や中学校の文学教材指導の機会を活用して、学校で本を選ぶときの

参考にすることで、読書活動が盛んになると思われる。

- ・大学等との協働により、学力と不登校の関係や体育に関するプログラムなどでの事業を考えている。
  - ・部活動支援については、2月から4月にかけて文化協会、体育協会などの社会教育関係団体に対し部活動を応援することに関するアンケートを実施、7月頃には協力できる状況をリスト化し校長会に示している。現在部活動支援で活躍している団体もある。
  - ・非構造部材の耐震化（落下物などの危険等）の関係は、単年度では終わらない事業で相当な予算が必要になる。優先順位としては、安全面が第一で次に環境面の改善と考える。
  - ・学校の衛生面からは、トイレについては週2回の清掃を委託で実施している。子どもたちが気持ちよく過ごしてもらうことも大事だが、やはり安全が第一なのでトイレの改修は次になってしまう。
- ・昨年度の主な意見（参考）
- ・社会教育施設（公民館等）について多くの市民に来てもらうには、駐車場が不足している。
  - ・文化的事業に対して、もっと予算がつかないものなのか。
  - ・学習をする環境がとても大切である。以前東大和市公立小中学校PTA連合協議会からの要望でも、冷房設備、トイレ、道路・通学路、給食、先生の指導力などがあったと思う。
  - ・人間力の向上、学力の向上のなかで、子どもたちをしっかりと授業に向かわせ、いかに学力を身に付けるかが大切である。
  - ・先生が忙しすぎて、過労状態になってはいないか。今の学校は、教師に多くを求めすぎていて、研修は避けられないが校内研修等が多く、子どもに向き合う時間が少ないと思う。
  - ・先生の事務量が多いこと、忙しいことに間違いはないと思うし、真面目に取り組む先生が多いことや、これで良いという終わりはないのが教育であるとも思うが、調整する能力も必要と考える。
  - ・東大和市公立小中学校PTA連合協議会との年2回の懇談の機会をもっと活用し、交流の場とならないものか。
  - ・朝ご飯について、まだまだ朝食を取っていない子どもが多く、親に向かって絶えず言い続ける。
  - ・東大和市公立小中学校PTA連合協議会の役員以外の方々に、家庭学習の大切さをどのように理解してもらうか教育委員会から一般の子どもの家庭に対し、声を届けることができないか。
  - ・学校としての決まりごとについて、東大和市として、マニュアルを作成し入学当初から継続させることで身に付けさせる。1年生から学ばせることが大事で、6年生になった時にはしっかりと身につくと思われる。上の子を見て、下の子が育つことにつながる。
  - ・東大和市は学校選択制がないので、地域とのつながりが生きている。小中連携の中で、小学校から積み上げてきたものをいかし、校区で統一するルール、東大和市で統一するルールを作りたいと考えている。

- ・校章などの成り立ちを示すことで、学校の誇り、自尊感情を育てることにつながる。
- ・教育に対する関心を高める。子どもたちの学力向上のための市民運動を展開し、市民にマッチしたかたちで取り組みができることが望ましい。
- ・いじめ問題のようなシンポジウムを定期的に開く。
- ・教員の多忙感を解消するため、子どもと教員の向かい合う時間を確保するためにも事務の効率化を図ることが大切である。
- ・情報を共有できるようにするためにも、教育委員会のホームページを充実させる。
- ・通学路の安全点検については、子どもの命に係わることなので、成果を市民に示すことも大切である。通学路の点検結果（信号機の時間延長、樹木の剪定など）については、警察に確認の後、公表していきたい。
- ・社会教育的な部分で、専門職の尊重、活用することは業務にメリットとなる。また、専門の方をお迎えし、勉強する機会を増やすことも大切である。
- ・社会教育施設の耐震化は、安心安全のためにも必要不可欠である。
- ・美術園については、土地の購入など事務的な部分が完了したので大いに活用できる本格的運営の計画をたてるべきである。現在、美術園については、どう整備するかなどについて、郷土博物館協議会委員に内容を検討してもらうよう準備しているところである。

## （２）東大和市学校教育振興基本計画について

### ①主な説明

- ・平成２５年１月から策定に対して検討委員会を立ち上げ、１２回の会議開催及び市民説明会などを行ってきた。
- ・計画の特長としては、校長が自校の学校経営方針を作成する際の指針となるように教育委員会が、今後５年間で目指す学校教育と施策の方向性を具体的に示した。
- ・計画が、学校、多くの方々に理解・共有してもらえるように常時手元に置き活用しやすいこと、見やすいことを考慮して、パンフレットサイズに簡潔にまとめることとした。
- ・計画策定の経緯、東大和市の教育の現状と課題、用語解説等の資料編を作成する。
- ・東大和市学校教育振興基本計画、資料及び市民の皆さんからいただいた意見等については、ホームページに掲載する。

### ②主な内容

- ・教育経営方針～経営戦略３つの柱～については、本計画が策定されるまでの方針であり、パンフレット作成においては紛らわしいため掲載しない。